



フジバカマで羽を休めるアサギマダラ

「旅するチョウ」羽休め 下関

「旅するチョウ」として知られるアサギマダラが下関市内に飛来している。好んで蜜を吸うフジバカマの

周りで優雅に舞い、羽を休める姿が人々の目を楽しませている。

羽にまだら模様がある大型のチョウ。春から夏に日本列島を北上し、秋から冬にかけて南へと旅をしている。

同市横野町の安岡病院では、今月上旬から姿を見せ始めた。フジバカマが植えられた正面玄関前と庭園では、来院者やスタッフがスマートフォンでカメラを向けている。

ここ2、3年は飛来がほとんどなかっただけに、関係者の喜びはひとしお。病院を運営する医療法人社団松涛会しゅうたうかいの斎藤英樹常務理事は「姿を見ると、皆笑顔になる。ここでしたっけり栄養を取って、また旅立ってほしい」と見守っている。